

(H28年9月)



置賜三十三観音霊場 第一番札所

■ 上小菅観音

御本尊は千手観世音菩薩。鎌倉・初期の作と伝えられる。観音堂の創建は南北朝時代。当時はこより後方の小高い所にあり、多様に不慮なため現在地に移動した。明治二十一年十月に火災で焼失したため、今の観音堂は明治二十五年に再建されたものである。

石形り三十三観音像造り

千成十一年八月に地域の有志が集い、米沢市街地を一望出来る高台に、観音堂（観音堂志保開創地）の地に三十三体の石形り観音像を建立した。これは、置賜三十三観音霊場より、分身分堂を頂戴したもので、道歩道を通って参拜できる。

真徳山 金松寺 山主 敬白

石形り三十三観音像

観音堂

金松寺 350m 御朱印所 350m 観音堂

石形り三十三観音像

観音堂

現在地

広幡小学校

金松寺 卍

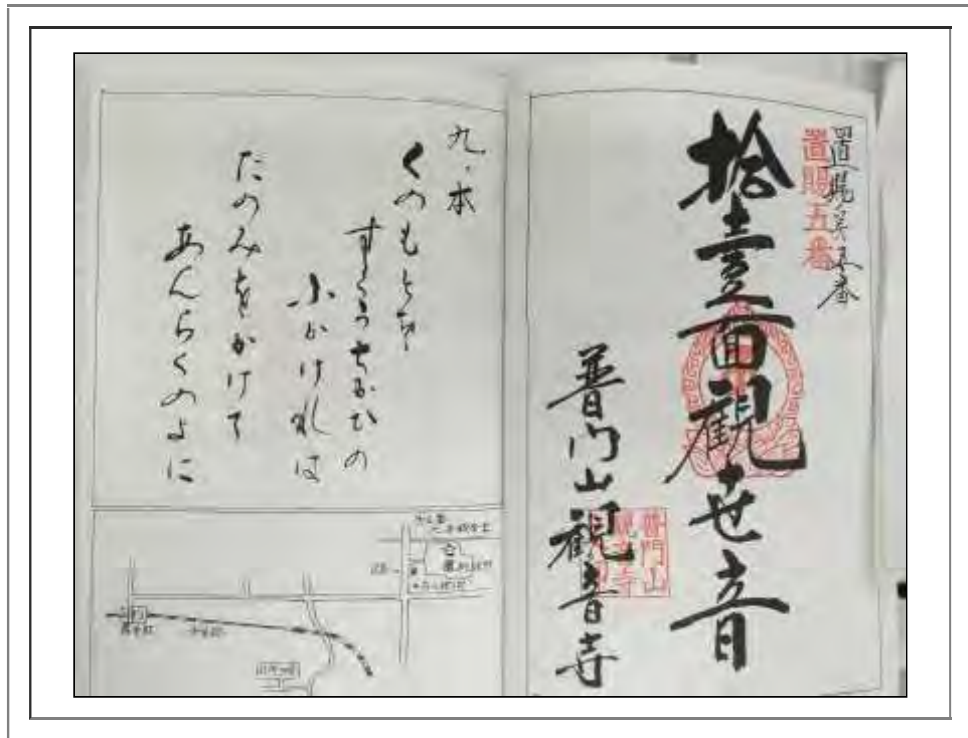
御朱印所

287

至 米沢市内

成島駅

至 川西



## 《 置賜三十三観音 》

山形県には最上・庄内・置賜の三十三観音霊場があり、番外を含め、合わせて山形百観音として信仰されています。

このうち地元でもある置賜三十三観音は、上杉家の重臣であった直江兼続公の後室お船の方が西国三十三観音になぞられて、この地に霊場を定めたと伝えられています。

特に信仰があったわけでもないのですが、一番札所が近くにあることから、仲間数人と数日かけ『置賜三十三観音』すべてを巡って御朱印を頂いてきました。今でこそ車で移動できますが、昔の人は徒歩で巡礼していたかと思うと気が遠くなります。

全国各地に、同じような三十三観音霊場があります。自分の住んでいる近くの霊場を探すのも良いかもしれません。